

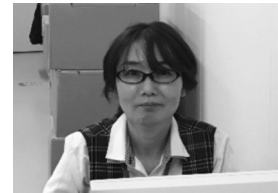


MMWIN[®]みんなのみやぎネット[®]

より効率的で、質の高い医療・介護サービス提供のために
Vol. 87

病院移転における電子カルテシステム停止期間中の MMWIN保存データの活用

JCHO仙台病院様は、2021年5月1日に仙台市泉区に移転され、5月6日より外来診療を開始されました。5月1日から5日間のシステム停止期間中の対応について、診療情報提供の対応責任者であり、中心的役割を果たされた診療情報管理室診療情報管理専門職 宮口美奈子様にお話を伺いました。



宮口 美奈子 診療情報管理士

～病院移転に向けて～

診療情報管理士は、診療情報の全てを扱う専門職になります。電子カルテ、過去の紙カルテ、また必要に応じて様々な診療情報をデータ化し、保存・抽出・加工などを行う管理全般をしております。移転期間は紙カルテで対応することになっておりましたので、対象となる患者さんの絞り込みをし、医師には事前に指示を出してもらうことにしました。

また突発的な指示などに対応できるように、入院患者さん全員分（約200名分）と急患用の紙カルテを準備しました。紙カルテの準備や運用方法については、看護部、医事課と他メディカルスタッフと打ち合わせをして決めていきました。

～病院移転の課題～

移転前の病院で使用している電子カルテシステムを移転先でも引き続き利用することとなりました。新規システムの導入であれば、事前にシステムを構築するなどの準備が可能ですが、それができないため、移転完了までは電子カルテシステムが停止となります。システム停止により、過去の診療情報録の参照ができず、移転先との距離もある中、病院としては大きな不安を抱えたまま移転に臨まなければならない状況でした。

～MMWIN活用のきっかけ～

移転間近の4月の会議で庵谷副院長からMMWINが使えないかとのことのご意見が出されました。MMWIN提供システムは、「診療情報のバックアップ」と「診療情報の参照・共有」の二つの提供機能がありますので、過去の既往歴、薬や検査結果などのデータが見られたらいいという先生方からの要望にも応えることができます。こういった場面でもMMWINの活用ができると気付かされ、病院で抱えていた不安を払拭してくれると感じました。早速MMWIN営業担当の方に相談し、準備を進めることとなりました。

～移転の事前準備～

MMWINが提供する「タブレットサービス」を利用することとしました。MMWIN専用iPadを5台準備し、旧病院に2台、新病院に3台配置。iPadを通してバックアップ情報の参照ができるような体制を準備しました。

また、医師に患者データを見てもらいながらMMWINの操作説明を行いました。先生方からは、操作方法の動画がほしいという要望が出ましたので、動画と紙のマニュアルを準備し、iPadと一緒に医局の目立つところに設置しました。移転期間中は休日シフトにしておりましたので、日当直にあたる医師、他にも総合診療科や腎センターの医師にも利用してもらいました。iPadは携帯性に優れていることから、医局内での利用とし、必ず医局に戻すようお願いしました。基本方針として、他院の患者さんの受け入れはせず、自院の患者さんのバックアップ情報の参照として役立ちました。

～振り返り～

移転期間中は、主治医ではない日当直の医師が診察するので、患者さんの前後の流れを把握するのに紹介状が見たいという声があり、紹介状、画像、手術所見についてもバックアップ情報としての必要性を感じました。災害時のMMWINバックアップ機能をイメージしていましたが病院移転の際にも同様の活用ができることを実感しています。他の病院にも参考になると思います。

お問合せ先：

一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

Miyagi Medical and Welfare Information Network (MMWIN)

【住所】仙台市青葉区一番町1-15-19 【WEB】<http://www.mmwin.or.jp>

【TEL】022-395-6312 【FAX】022-395-6313 【E-mail】office@mmwin.or.jp



『MMWIN』、『みんなのみやぎネット』は、一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会の登録商標です。